



箕面市人権啓発推進協議会

ニュースレターVOL12
2014年10月発行

〒562-0014 大阪府箕面市萱野1-19-4 箕面市萱野中央人権文化センター内

TEL / FAX 072-722-2470

E-mail jinken-jimu-minoh@silk.ocn.ne.jp

<http://minohjinkenkyou.rakurakuhp.net/>

「わっと」は当協議会の愛称です。
人権ってなに？の「What」と人権の輪が「わっと」
広がってほしい願いが込められています。

今年の締めは 人権フォーラムで

いっさいの差別を
許さないために
話す、語る、分かち合う

箕面市人権啓発推進協議会会長 仲野 公

今年の夏は異常気象で広島をはじめ全国各地で台風や集中ゲリラ豪雨により大きな被害が発生し、尊い人命や貴重な財産が奪われ、自然災害の恐ろしさを痛感させられたところですが、一方では熱帯・亜熱帯地域で多く発生している蚊による媒介の感染症「デング熱」が東京代々木公園から全国に広まりつつあることも気になるところです。

また、今年の夏は憲法解釈を変えることができると言われる集団的自衛権の閣議決定、地方創生や外交を重視したとされる安倍内閣改造など政治的にも大きく動いた夏であり今後の動向を注視していく必要があると思われれます。

そして忘れてならないのは、自宅マンションで同級生を殺害のうえ遺体を切断するという佐世保女子高生殺害事件をはじめ、各種人権を侵害する事件が多く発生していることであります。

そうした中、私たち人権啓発推進協議会は多くの市民、仲間とともに差別のない明るい人権尊重の街をめざして各種活動に取り組んでいるところですが、毎年12月の人権週間に開催している「みのお市民人権フォーラム」は今年で29回目を迎え、6日と7日の二日間、いっさいの差別を許さないために話す、語る、分かち合う、を基本テーマに、全体会ではジャーナリストとしてテレビ等で活躍されている鳥越俊太郎さんをお招きし「今の政治と人権」と題してご講演を賜り、分科会では障害者・女性・教育(子ども)・在日外国人・地方自治・部落の6分科会に分かれそれぞれのテーマに沿って議論を深めていただく予定をしていますので一人でも多くみなさんに参加していただき、このフォーラムを機会に人権の「わ」を広げていただきますようお願いいたします。



みのお市民人権フォーラム29th

とりごえ しゅんたろう

鳥越俊太郎さんと、
ともに考える
「今の政治と人権」

全体会

- とき ● 2014年(平成26年)12月6日(土)
開場/PM1:00 開演/PM1:30
- ところ ● グリーンホール(市民会館)大ホール
- テーマ ● 今の政治と人権
- 講師 ● 鳥越俊太郎さん
- 参加協力券 ● 1,000円

プロフィール

1940年3月13日生まれ。福岡県出身。京都大学文学部卒業後、毎日新聞社に入社し「サンデー毎日」編集長を最後に1989年退社。以降、テレビ朝日系列「ザ・スクープ」「サンデージャングル」でキャスターを務めるなどテレビメディアに活動の場を移した。

2005年、ステージ4の大腸がんが発覚、肺や肝臓への転移を経て4度の手術を行った。2010年から始めたスポーツジムに加え2012年にはホノルルマラソン完走を果たすなど健康なライフスタイルを貫いている。現在もさまざまなメディアで「ニュースの職人」として活躍中。



第1分科会 地方自治

東日本大震災を記憶し、語り続けるために

12月6日(土)PM4:30 開場 / 5:00~7:00
グリーンホール(市民会館)1F 大会議室

東日本大震災が発生して3年半が経過し、再度あの震災を箕面の地で考え再認識をするために、パネルディスカッションを開催します。

<プログラム>

1. 合唱 女性コーラスグループ「ハミングバード※」による「被災地に思いをよせて」
2. パネルディスカッション
 - コーディネーター/坂口一美さん(前市教育委員。被災地を故郷に持つ方)
 - パネリスト/被災地から被災した方をお迎えします/被災地ボランティアに関わっている大阪の高校生たち/大槌町派遣職員/被災地支援活動に参加した市民/箕面市長 他
 - 総合司会/前田功(当協議会事務局長)

※スパイシー・ママ&アンサンブル花音のジョイントグループで3.11を忘れないために合唱活動を行っている
(文責 前田功)

第3分科会 女性

かるたを使って ジェンダーってなに?
楽しみながら考えてみよう

12月7日(日)AM9:30 開場 / 10:00~12:00
みのお市民活動センター 多目的室

「かるた」といえば、いろはかるたや百人一首かるたが一般的ですが、お正月などは読み札と絵札に分れた2種類の札を使って遊んだ思い出があるのでは? 今回この分科会に向けて、企画グループのメンバーは「女らしさ、男らしさ」「男のくせに、女のくせに」といった社会的文化的な性のありようを言葉に、絵に表現した「ジェンダーかるた」を作って、参加者の皆様に遊んでもらおうと考えています。かるたに対する意見や感想を出し合って、より完成度の高い作品に仕上げたいと思います。また、この分科会で新作がいっぱい生まれることを楽しみにしています。講師は、1984年設立以来「コマーシャルのなかの男女役割を問い直す会」世話人としてCM分析を続けてこられた小川真知子さん。かるたから透けて見えるジェンダー意識を鋭く突く彼女の話に、きっと新しい発見があるはずです。 (文責 森幸子)

第2分科会 部落

今、一番子どもと受けたい部落問題の授業2
結婚差別を考える

12月7日(日)AM9:30 開場 / 10:00~12:30
萱野小学校 視聴覚室

昨年に続いて「今、一番子どもと受けたい部落問題の授業2~結婚差別を考える~」をテーマとした模擬授業とワークショップを開催します。これは、子どもになった気持ちで授業を受け、ワークショップをしながら子どもに伝えたいことを考える分科会です。

模擬授業は、6年生の社会科公民分野の教科書に沿ったもので、結婚式の写真をみて結婚に対するイメージを共有したり、結婚するにあたっての重要な条件などを考えます。萱野小学校教諭井上善嗣さんが先生をします。

ワークショップは、「恋人はサーファー」というテーマです。「28歳の女性が結婚を考えている相手は40歳のサーファーで、父と母はあまり前向きではない」という設定で、参加者が父・母・女性の立場に立って家族会議を開き説得するというものです。立場を交代して全員が、それぞれの立場を体験します。昨年同様、武田緑さんがファシリテータを務めます。

子ども達がどんな授業で部落問題を勉強しているのか? 知りたいあなた、ぜひご参加ください。

(文責 太田克己)



第4分科会 教育(こども)

楽しもう! 思春期子育て

~不登校・非行の事例に基づいて~

12月7日(日)PM1:00 開場 / 1:30~3:30
らいとぴあ 21 3F ホール

不登校やいじめ等、子どもたちの抱える問題の背景には本人やその家庭を取り巻く社会環境がますます厳しくなっていることがあげられます。15年以上にわたり不登校・いじめ・非行に関係した子どもたちとその保護者の支援を続けてこられた中村有美さん(府すこやかネットアドバイザー・スクールソーシャルワーカー)の体験をふまえたお話をもとに、思春期を楽しく子育てするヒントを一緒に見つけていきましょう。 (パンフレットより)



第5分科会

障害者

身近にある差別

障害の有無によって分け隔てられることのない街、箕面へ

12月7日(日)PM1:00 開場 / 1:30~3:30

みのお市民活動センター 多目的室

障害児・者の「完全参加と平等」を謳った国際障害者年(1981年)から早33年という月日が流れました。2013年12月、日本は国内の法律が「障害者の権利に関する条約」(2006年採択)の求める水準に達したとして加盟国となることを国会で承認しました。

その法律の一つとして2013年6月に成立したのが「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」で、2016年4月1日施行に向けて市民とともに作りあげていくものとなっています。

障害者分科会ではこの「障害者差別解消法」をベースに「障害があってもなくても、誰でも分け隔てられず、お互いを尊重して、暮らし、勉強し、働いたりできること」「差別を解消して、誰もが安心して暮らせる豊かな共生社会の実現」に向けて、市民一人ひとりが具体的にできそうなことを考える場にしたいと考えています。わかりやすく楽しめる劇団「でこじるしー」による寸劇と、パワーがあふれ元気をいただける井上誠一さんの講演会を企画しています。是非ご参加ください。(文責 安東由紀子)



第6分科会

在日外国人

多文化多民族共生の時代を生きる

12月7日(日)PM1:30 開場 / 2:00~4:00

箕面市多文化交流センター1F 「comm cafe」

箕面の街の特色は、90カ国を超える多くの国にルーツを持つ在日外国人がともに暮らし、生活をしていることです。

そこでは、自分の母国の言葉と文化を大切にしながらも、箕面の街でさまざまな「違い」に出会い、悲喜こもごもの中で「共生」の取り組みが進められています。

今回は、古くから大阪生野で在日コリアンとして暮らし、地域社会の大きな場である学校活動、特にPTA活動を通じて、地域社会の共生を実践されてきた方とその仲間の皆さんをお招きし、「共生」の具体的な実践のお話をしていただき、その智慧をもらうとともに、その中で結成された音楽バンド(「おやじバンド」)の演奏を聴いて勇気をもらい、今後の箕面の街における「共生」の新たな道を探ります。

(パンフレットより)

■全体会+分科会フリーパス 1000円

■分科会フリーパスのみ 500円

(フリーパスですべての分科会に参加できます)

☆チケットは人権協でも取り扱っています

お知らせ

今年も人権協として東日本大震災義援活動2014を実施します

東日本大震災を記憶し、語り続けるために



昨年の10月、人権協の呼びかけで21名の会員が東北地方の被災地を訪問し、障がいのある人達や高齢者などの社会的弱者と言われている方々のお話を伺ったり、福島第1原子力発電所の事故により居住制限区域、避難解除準備区域となった小高区などの被災状況を見ること、聞くこと、体感することをしてきました。

阪神淡路大震災を体験し、多くの復興活動を行ってきた私たち人権協としましても、この東日本大震災が遠い東北地方で起きたこととは思えません。再度今年も参加者を募り15名のメンバーで、10月28日から30日にかけて被災

地を訪問し、多くの方々と語り合い、繋がって参りたいと思います。

特に今年は、再度南三陸町の防災庁舎を訪れ、最後まで住民に避難を呼びかけ津波の犠牲になった町役場の職員、遠藤未希さんのご家族の方のお話を伺ったり、特別養護老人ホームでの聞き取り・交流、壊滅的な被害を受けた離島の大島を訪れ仮設住宅の状況や地場産業の復興状況、障がい者施設での聞き取り、陸前高田市の間いゆる「奇跡の一本松」「スーパー堤防」などをしっかりと「見ること・聞くこと」をしていきたいと計画しています。

さらば！ 唐池子ども縁日まつり

ぼくたちの夏

8月23日、30年の歴史をきざんだ「唐池子ども縁日まつり」が幕を閉じました。



1984年、わたしたちは特別の思いでこのお祭を準備しました。このお祭の直前に、一緒に準備していたKさんのお母さんが亡くなられたからです。

脳性マヒ者のKさんは箕面市の障害児の原学級保障を切り開いたひとりでした。1981年、翌春のKさんの中学校卒業をひかえ、彼とお母さんは箕面市役所への就労運動へと向かっていました。高校進学運動を選べない事情がKさんのお母さんにはありました。彼女はいつ発作が起こるかもしれない心臓病で、いのちのある間にKさんの自立の道をつくっておきたかったのです。国際障害者年箕面市民会議として進めたこの運動は箕面市役所の障害者別枠採用制度を実現させましたが、Kさんは残念ながら市役所の職員にはなれませんでした。しかしながら、翌年の春に静かに出発した豊能障害者労働センターのスタッフとして現在も活動をつづけています。

お祭り当日、おかあさんの葬儀が終わると大急ぎで祭りの準備をしました。祭りが始まると、どこからやってきたのか子どもたちであふれかえりました。わたしたちにとって、ほんとうに今でも忘れられない光景でした。後片付けをしながら、だれかが言いました。「きつとKさんのかあさんがよんできてくれたんや」。



わたしたちはこのお祭りを一回きりと考えていました。けれども毎年、Kさんと彼につづく障害のある子どもたちがどれだけ地域で共に学び共に遊ぶ友だちと出会い、どれだけ障害者が地域であたりまえに暮らせるようになったのかを、Kさんのおかあさんに報告したいと思いました。

わたしたちは追悼の祈りをこめて、このお祭りを毎年恒例にすることにしました。

ヒューマンカルチャー・あれこれ



30年という長い時間は、箕面の町の障害者市民とその仲間たちの「たたかい」の足跡をたどるには十分な歴史となったはずです。

唐池まつりは毎年のかあさんの一年を、Kさんのおかあさんをはじめとする志半ばで逝ったたくさんの愛おしい魂たちに捧げるラブレターでもありました。

このお祭りが育ててきた「障害のある子もない子も、みんな街のたからもの」というメッセージが箕面の町に受け入れられてきたこと、そして、この街のすべてのとびらが固く閉じられていた30年前、いやそれよりもっと前から、ひとりの障害者の母親がそのことを夢見てたたかい、憤死したことだけは、わたしたちは決して忘れることはありません。

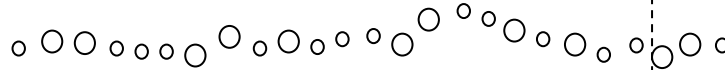
夏、ぼくたちはとてつもなく大きい大切ななにかをなくすことであたらしい夢をつくるのかもしれない
それを知っているから蝉たちは
今朝もあんなにさけんでいる

細谷常彦

(豊能障害者労働センター元専従スタッフ)

人権啓発学習会

「障害者は雨とそっくり」



- *日時 11月15日(土)午後2時～4時
- *場所 らいとぴあ21 3階 視聴覚室
(箕面市立萱野中央人権文化センター)
- *講師 牧口一二さん(ゆめ風基金代表理事)
- *参加費 無料

「雨と障害者はそっくり」と語る牧口一二さんは、1937年生まれの77歳。何もなかった時代から今を生き、これからの未来をどのように描いていけばいいのか、ともに考える場になればと思います。



編集後記

箕面小学校区地区協議会主催「わっとコンサート」が20回目を迎えます。11月8日(土)18時30分～、コミュニティセンター日時計の家にて開催されます。秋は芸術やスポーツ、学習のイベントが目白押しですが、ぜひ人権協が主催するいろいろな企画に参加していただけますよう、よろしくお祈りします。(M)